

知らない

友達

「桜を知らないの?」「知らないんだ。」友達と行ったお花見で、彼女があまりにも桜を見て感動するものだから私は冗談のつもりで聞いた。知らないなんてそんなはずはない、なぜならもう何度も一緒にお花見に行っていたのだから。意味が分からず聞き返してしまった。彼女は「私は桜の全部を知ってるわけじゃないからね。」と言った。私は彼女のその言葉聞いてはっとなった。私は桜をなんとなくしか見たことがなかった。私はずっと、桜を知っているようで知らなかったのかもしれない。それから私は今までなんとなくで見えてきたものを本当の意味で知ることが出来るよう日々考えながら過ごしている。彼女のおかげで知らないことを私は知れた。

受賞にあたって

じっくり考えて書いた作品なので、とても嬉しいです。この言葉に出会ってからは、先生が授業中に繰り返し言ったことも、一回一回改めてしっかりと興味を持ちながら聞くようになりました。弟の幼なじみである「知らない」と言った友達には感謝を伝えたいです。